

全佛通信

八月号
発行所 財団法人
全日本仏教会
東京都中央区築地
三ノ一本町寺内
電話 〇二九六九
〇三一一三
振替 東京三三七〇〇
発行人 阿部龍伝
編集者 伊東堅純
印刷所 ルンビニ社

デンマークに使用して

仏書贈呈の使命を果す

総務局長 阿部龍伝



(写真) コペンハーゲンの教会

去年の十二月、キリスト教を国教としていたデンマークの聖書協会から、日本の聖書協会理事長の村田四郎氏を通じて約二百万円に相当するバイブルが、日本仏教徒に寄贈されることになった。これはコペンハーゲン在住のキリスト教信者の発案によるものだそうだが、これを通じて仏基両教の友好親善を深め、延いては日本とデンマーク両国間の国民外交の目的にも資し、民族を超え、宗教の区別を超え、国境を超えて互の理解と協力によって、世界の平和招来に努力したいとの事だった。

我々全日本仏教会でも、早速この申入れを議題に常務理事会を開き、この好意を受諾すると共に、相互の理解と両者の交流ということであれば、日本仏教徒からも仏書を贈呈して交歓の実を挙げべきだということになりこの趣旨をコペンハーゲンの聖書協会に申し入れた。斯うした経過を辿って仏書贈呈国際親善使節団を現地に派遣することになった。デンマークからの要望もあって全日本仏教会からは大正新修大蔵経全五十五巻を寄贈することになり、各宗団や各学校関係からは国訳一切経をはじめ、約千五百冊、重さ五トンを超える仏教図書の寄託をうけた。団員自体としても宮本正尊博士の「仏教」を急遽英訳して寄贈の準備をするなど、これは仏教史上実に画期的なこと

あり、又それだけに団員各々の使命としても重大な責任であること自覚を高めた。

六月十日の午後十一時半、真夜中の上空を一路デンマークに向って羽田を離陸した。

同行三十名、実に大部隊の使節団の編成を見、全仏当局からも麻布、別所、岩本の三氏を交えて四名参加することになり、使節団としての使命達成に万全を期した。

一昨年偶々機会を得て仏教東漸

アピール

すでに御承知のとおり、本年は印度仏教復興の父と仰がれている、故アナガリカ・ダルマパীラ師生誕百周年にあたり、この生誕百周年祭が、印度を中心にしてセイロン等で盛大に展開される。

特に印度大菩提会ではこれを主宰し、この祭典を記念して、カルカッタに仏跡巡拝者のための宿泊施設兼国際仏教文化センターを建設する計画をたてている。同会のヴァリシナー事務総長は日本仏教徒にこれが協力を求めるため、今春来日し各地で協力方の要請をなして来ている。

全仏としては機関決定を経てこれが募金目標額一千五百万円を目ざして鋭意努力して来ているが、これに対する協力方依頼のパンフレットはすでに各宗各派、入竺者等に配布している。

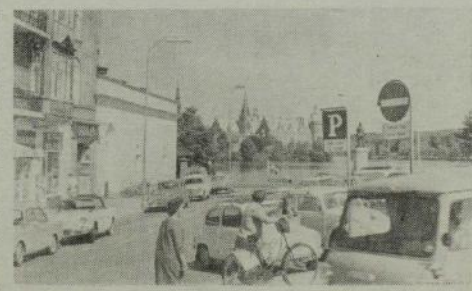
何卒、その一生を印度仏教復興につとめた、ダルマパীラ師生誕百周年祭の記念事業達成のため、同仏各位の絶大なる御協力を切にのぞんでやまない次第である。

日本仏教徒の協力が、東南アジア各仏教国に与える影響は大きく、これによって日本の外交路線が一層スムーズに道がひらけてくるであらう。

全日本仏教会

会の一行と行を共にし、北米各仏教々団をはじめ、欧州各地の仏教関係の施設を訪問し、日米仏教の交流親善に約二ヶ月間各地を遍歴

ケジュールに従って聖書協会のピショップ達に、心をこめて各教会の案内をしてくれた。丁度ヒュースンボルドの教会を訪問した時だっ



(写真) コペンハーゲンの町

ショップの一人が私に斯う話をした。この度、大國日本から長い歴史と誇りを持つ大乗仏教の高僧、名僧の人々が来訪されるわけだが、空港での初対面の気づかい、滞在

中の日程など両者の気持の触れ合いと打ち解けに何うすれば好いか、相当頭を痛めて来たが、空港での初対面から旧友の再会にもましての気軽な対面が出来て、迎える私共は唖々と安心した。一切を包含して捨てないという大乗仏教の精神そのものに触れたような気がししております。との事だった。私はこのショップの言葉は真実を吐露したものとして素直にうけとった。国と国との困難な問題や、民族間の思想の違い、そうしたすべての障壁を乗り越え得る世界は、やはり宗教的な立場での相互理解によってのみ果せるのでは無いかと思った。デンマークは世界一といわれる酪農の国家であり、又完全福祉国家だとさえ伝えられている位、社会施設が行き届いている

セイロン高僧

M・パンナシハ大僧正歓迎会

両国の親善を強調

アジア財団の招きで欧州から米...

全仏では七月二十二日午前十時...

パンナシハ大僧正は「現在セイ...

で着々と運動をしている。一九五...



(写真) 歓迎会場で懇談する大僧正と高階会長

師、阪東性純師の順でテーブル...

当日は、M・パンナシハ師、ア...

が、その施設の主なものは聖書協...

質教育の偏重による遺産であると...

数人の専門の学者もおり、仏教発...

十四日の朝、郊外の観光に出か...

本使節団の使命であった仏書贈...

因にこの画期的な親善交友を深...

宗教的情操教育をぬきにして果...

贈呈をうけた後、カ総長は次の...

新瀉地震は予想外の被害をうん...

高階会長ら

新瀉へ慰問放送

新瀉県仏教会(安藤寿雄会長)...

八月九日 高階聖仙全仏会長...

同十六日 尾尾弁匡 同顧問...

同廿三日 山本杉同常務理事

十一月二十九日から五日間

第七回世界仏教徒会議

印度サールナートで開催に決定す

今秋インドで開催が予定されている第七回世界仏教徒会議に...

Table with columns for dates, locations, and travel details. Includes entries for 十一月十二日 (木) 東京発 AI...

Table with columns for dates, locations, and travel details. Includes entries for 同 二十七日 (金) ゴラクプー...

アッツ島慰霊団帰る

アッツ島に散った二千六百名の旧日本軍将兵の遺品収集と慰霊のため...

ただ気候は寒く、零度位の日がつづきましたが、幸い霧はかからず...

今はただ恒久的な慰霊地として慰霊塔が建立されんことを祈るだけです」と。

なお、これに先立って七月二十一日四時から九段会館に於いて日本仏教文化協会主催による壮行会...

